

<博士前期課程>

【求める学生像】

博士前期課程では、高度な知識と研究的視点をもった優れた看護実践者、看護管理者、そして看護教育者の育成を目標としており、以下の学生を求めています。

1. 人間に対する温かく深い関心を持ち、他者への思いやりや共感できる姿勢を有している人
2. 向上心が豊かで自ら積極的に学ぶ姿勢を持ち、看護の実践的課題に取り組む強い意欲を有している人
3. 社会人としての常識や良識をもつ誠実な姿勢と共に、協調性と責任感に富む姿勢を有している人
4. スペシャリストレベルの実践により、患者・家族の幸せを高め、現場の看護を充実させたいと考えている人
5. 看護技術に先進的なテクノロジーを取り入れた研究に興味・関心を有している人

【選抜の基本方針】

専門科目では、下記の3点を評価する。

- ・専門分野の高度な知識を学修するための志望する専門分野の基礎的能力
- ・専門分野の看護の実践的な課題に対する問題意識
- ・自分の考えを表現し、他者に論理的に伝える能力

小論文では、読解力、自分の考えを表現し、他者に論理的に伝える文章表現力を評価する。

英語では、看護実践の諸活動の科学的根拠とそれを与える理論およびその応用の学修に必要な英語の基礎的能力を評価する。

面接では、大学院博士前期課程で看護学を学修することに対する意欲、適性（AP1～5の確認）、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価する。

<博士後期課程>

【求める学生像】

博士後期課程では、看護学の知識の蓄積に貢献できる研究を独自に計画し、遂行できる研究者、研究結果を駆使し優れた技術をもつレベルの高い実践者、そして優れた看護を中心に医療の改善を推進できる指導的実践者の育成を目標としており、以下の学生を求めています。

1. 看護の専門性を活かし人間の健康や幸福に対する関心を持ち、看護の社会的貢献や国際的な活動に取り組む意欲を有している人
2. 高度化、複雑化し続ける医学・看護学の分野で高い研究力と看護実践能力を身につけ、新たな看護技術の創出を目指す人
3. 看護の実践現場のスタッフとともに研究成果を取り入れた実践を行い、その活動を理論づけ、体系化を目指す人
4. 学際的な研究アプローチに関心を持ち、看護学を更に発展させる基礎的研究能力を有している人
5. 異分野融合研究に取り組み、その研究成果を実践の場で広く普及させることに意欲を有している人

【選抜の基本方針】

専門科目では、下記の3点を評価する。

- ・専門分野の高度な知識を学修するための志望する専門分野の基礎的能力
- ・専門分野の看護・医療の課題と改善に対する意識
- ・自分の考えを表現し、他者に論理的に伝える能力

小論文では、読解力、自分の考えを表現し、他者に論理的に伝える文章表現力を評価する。英語では、看護実践の諸活動の科学的根拠とそれを与える理論およびその応用の学修に必要な英語の基礎的能力を評価する。

面接では、大学院博士後期課程で看護学を学修することに対する意欲、適性（AP1～5の確認）、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価する。

また、当該研究科での研究計画の理解度、社会的必要性、基礎的研究能力について評価する。